

議会だより

太子

だいで

No.196

平成31年2月5日発行

茨城県
太子町議会

目次

- 常任委員会報告…………… 2～3
- 議会報告会 …………… 4～5
- 平成30年第4回定例会… 6～7
- 一般質問目次…………… 8
- 「わくわくわたしの夢」…16

活動を報告します!!

議会閉会中
各委員会が自主的
に行っています。

◇産業建設委員会

- ・ 6月27日 前冥賀地区太陽光発電施設建設予定地視察
- ・ 11月 7日 永源寺町道崩壊現場視察
- ・ 12月10日 国道118号袋田バイパス工事現地視察
(総務委員会合同)

◇総務委員会

- ・ 6月20日 公衆無線LANについて (役場内)
- ・ 8月22日 決算等について (役場内)
- ・ 11月 7日 西金駐輪場視察
- ・ 12月10日 国道118号袋田バイパス工事現地視察
(産業建設委員会合同)

総務委員会・産業建設委員会

袋田バイパス視察

国道118号袋田バイパスの進捗状況及び今後の予定について、常陸大宮土木事務所大子工務所から説明を受けるため、総務委員会・産業建設委員会合同で現地視察を行った。

袋田バイパスは、下津原から北田気までの総延長3560メートル、予算総額100億円で、平成2年度から事業が開始された。これまでに70億円が使われ、2090メートルが完成し供用が開始されている。残りは南田気大橋から北田気まで1470メートルとなった。

今年度は8億円が予算化され、南田気大橋の高欄の取付け・舗装・北田気側の整備が進められ、北田気から南田気に作業用の仮橋が架けられる予定となっている。

今後の予定は、盛土に設計変更され、一部土地の買収が行われるJR跨線橋と、久慈川にかけられる最後の橋、北田気大橋の大きな整備が行われるが、南田気大橋一

つでも10億円の費用がかかっている。

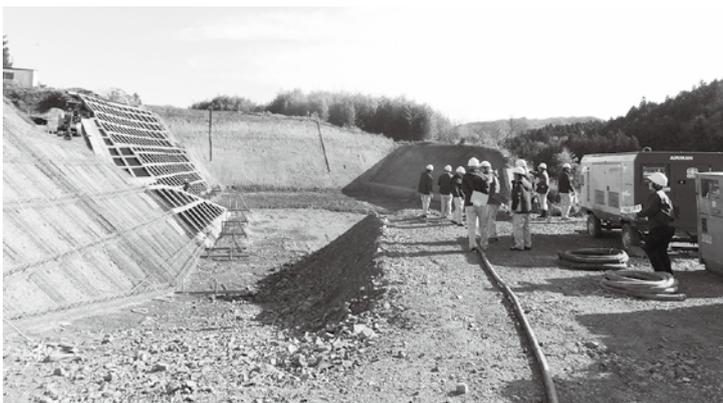
袋田バイパスの整備は、観光シーズン時の交通渋滞により住民生活に支障をきたすことから、袋田地区の円滑な交通の確保と住民の利便性の向上を図ることを目的として整備が進められてきた。事業開始から30年近く経過し、ようやく終わりが見えてきたところだが、

完成までにはまだ数年かかると予想され、事業が完了するころには、当時と環境も変わってしまうかもしれない。

大子町も県との強いパイプを持つ新町長が誕生したことで、県に対する工事の完了を早めるための働き掛けを強めていただけるものと大いに期待したい。



R118号袋田バイパス工事 (南田気地内)



R118号袋田バイパス工事 (北田気地内)

各常任委員会の委員会

◆文教厚生委員会

- 5月28日 上小川小・南中・生瀬小・生瀬中・給食センター・依上小・さはら小・黒沢小視察

- 5月29日 袋田小・大子中・だいで小・大子西中視察
- 7月10日 大子幼稚園視察
- 9月26日 福祉施設(久慈川荘各保育所・保育園)視察
- 11月28日 特別養護老人ホーム久慈川荘との意見交換会(久慈川荘内)



大子中

また、施設の老朽化に伴う修繕
また、施設の老朽化に伴う修繕
た。また、施設の老朽化に伴う修繕
た。また、施設の老朽化に伴う修繕

小中学校、幼稚園を視察

町内の教育施設の現状と課題を
町内の教育施設の現状と課題を
町内の教育施設の現状と課題を

文教厚生委員会



池田保育園

が必要な案件、校庭や周辺の環境
が必要な案件、校庭や周辺の環境
が必要な案件、校庭や周辺の環境

社会福祉法人清和会と保育所(園)の視察

町内の福祉施設の視察として、
町内の福祉施設の視察として、
町内の福祉施設の視察として、

清和会は、特別養護老人ホームを
清和会は、特別養護老人ホームを
清和会は、特別養護老人ホームを

次に視察した町立保育所や保育
次に視察した町立保育所や保育
次に視察した町立保育所や保育

保育所・保育園は、0歳児から
保育所・保育園は、0歳児から
保育所・保育園は、0歳児から

会を実施しました

担当議員

- 1班 菊池富也、櫻岡義信、岡田敏克、金澤真人、鈴木陸郎
- 2班 菊池靖一、須藤 明、大森勝夫、齋藤忠一、野内健一
- 3班 佐藤正弘、藤田英夫、中郡一彦、藤田 稔、吉成好信

前号(195号)に続きまして、議会報告会での要望・意見への議会・町からの主な回答です。

町民の声と議会の対応

議会関係

○上金沢にある砂防ダム3カ所に土砂が堆積している。定期的な状況確認と維持管理を要望してほしい。【依上】

↓要望内容を町内の全施設に広げ、町民の生命、財産を守る観点から定期的な施設の点検、安全対策の充実などを要望していきます。

○せっかくの報告会なのに参加者が少ない。PRの仕方や通知方法・内容を改善し、名称も

報告会及び意見交換会などにしてはどうか。【黒沢・袋田】

↓報告会の通知方法や内容・名称等を含め、報告会全体を再検討して、意義ある議会報告会を目指します。

○議会報告会資料の事前配布や課題を絞るなど検討してはどうか。【下小川】

↓事前配布は考えておりませんが、報告会の内容については、案内の中でもう少し詳しく載せることを検討します。

○西金駅の駐輪場は利用者が少なくあまり使われていないので、現状を見て対策を考えてほしい。【上小川】

↓総務委員会で現地視察を行いました。建物はまだまだ使用できるので、今後の活用

状況を見守っていきま

町関係

○防災ハザードマップの認識が甘いので、啓蒙活動などにより意識を高める必要がある。また、大雨など災害の想定があるのか。【依上・袋田】

↓ハザードマップの全戸配布を予定しており、自主防災訓練での活用を促すことで、防災意識の醸成を図ります。また、久慈川・押川の浸水想定区域が水防法の改正により、「想定し得る最大規模の降雨」を前提とした区域に拡大されています。

○町にドローンの規制地域があるのか。ドローンの練習場を作って、災害時で現地に行けな

いときや、観光面での活用を考えては。【上小川】

↓町独自の規制は設けていませんが、航空法による規制があります。また、観光での活用は考えていませんが、災害時の活用としてドローン事業者との協定を締結しています。

○回覧板の伝達だけでも大変になってきている地域もある。近い将来、地域は維持できなくなることを真剣に考えるべきではないか。【依上】

↓行政区の課題等については、今年度区長アンケートを実施し、現状を把握した上で、行政と地域の連携について検討します。



続 大子町議会報告

実施日

7月25日(水)

大子・池田、依上、黒沢 地区

26日(木)

佐原、宮川、袋田 地区

27日(金)

生瀬、上小川、下小川 地区

○運転免許を持たない高齢者が町外の病院に行くことが多い。タクシー利用助成事業の利用範囲を町外まで拡大してほしい。【下小川】

↓来年度策定予定の「大子町地域公共交通再編実施計画」において、公共交通全体の見直しの中で検討をしていきたいと考えています。

○楮農家は、儲かっているから将来が厳しいので、生産者を守るための手法を研究してほしい。【依上・袋田】

↓大子那須楮保存会と町との連携による補助事業の活用により、生産者の確保及び生産面積の拡大を目指します。

○袋田の滝の恋人の聖地としてのモニユメントは魅力あるものになっているのか。また、エレベーターへの通路は

何か飾りつけをするなど考えた方がいいのではないか。

【宮川・袋田】

↓PR動画の作成に取り組んでおり、その作成された動画を活用し誘客に努めていきます。また、トンネル内通路の飾りつけについては、滝のライトアップに合わせイルミネーションを行っていきます。

○子育て支援住宅は人口減少を考えると必要なのではないか。空き家も増えているのでそちらを利用すべきではないか。また、高齢者が住める長屋のような住宅を建設したらどうか。【黒沢】

↓子育て支援住宅として67戸と一定数を確保できたことから、今後は住民ニーズに対応するための検討を行います。また、老朽化が著しい

町営住宅についても建替えや団地の再編等も含め検討していきます。

○高齢者の移動手段、買い物難民など高齢者対策を考えるべきではないか。【宮川】

↓地域での支え合い活動の啓発と合わせ、郵便局による買物支援も視野に入れ、今後の買物支援の方法を検討していきます。

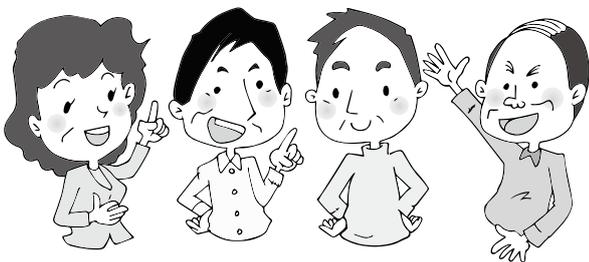
○大子町で出産、分娩ができなくなると聞いているが、何か対応は考えているのか。【依上・上小川】

↓12月から「こうのとりのタクシー利用助成事業」を開始しました。出産時の産科医療機関までのタクシー利用料金の全額助成を行い、遠方医療機関までの移動不安の軽減を図り、安全安心な出産を支援するものです。町内産

科医療機関には、外来診療を継続していただいていますので、今後も継続いただけるよう支援していきます。

○遠く(町外)まで行けない人のために、大子(まいん等)での講演会など増やしてほしい。【生瀬】

↓講師を招いての講演会を開催しており、今後も引き続き実施していきたいと考えています。



第4回定例会

平成30年度
一般会計

補正予算

4763万8千円の増額

こののとりタクシー
利用助成事業が始まります。

平成30年第4回定例会
が11月14日から22日まで
の9日間の会期で開かれ
ました。

条例の改正・廃止、平
成30年度一般会計補正予
算など、町長から提出さ
れた議案6件と、議員か
ら提出された議案「永源
寺進入路の補修工事に
ついての陳情に関する決
議」を審議し、原案どお
り可決されました。

一般質問では7人が登
壇し、町政に対しての質
問、答弁が展開されまし
た。

一般会計補正予算（第
5号）の主な歳入歳出は、
別表1のとおりです。補
正後の予算総額は、歳入
歳出それぞれ94億842
4万円となりました。歳
入歳出予算のほか、債務
負担行為の追加3件があ
りました。

別表1

一般会計補正予算の主なもの

歳入	補正額
地方交付税	22,480,000円
諸収入	17,293,000円

歳出	補正額
旧下野宮保育所解体工事請負費	5,500,000円
茨城県議会議員一般選挙費及び大子町長選挙費	790,000円
緊急通報体制整備事業費補助費	1,525,000円
こののとりタクシー利用助成事業費	200,000円
農作物被害防護柵等設置費補助金	4,811,000円
経営所得安定対策直接払推進事業補助金	649,000円
中山間地域農業基盤整備促進事業費補助金	5,414,000円
道路維持費（維持補修分）	7,300,000円
道路維持費（工事分）	5,400,000円
教育振興費補助費	422,000円
大子町立南中学校教室改修工事請負費	3,972,000円



**大子町固定資産
評価審査委員会委員
に綿引章氏を選任**

大子町固定資産評価審査
委員会委員に綿引章氏（大
字池田）を選任することに
同意しました。

第4回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議案名	結果
議案第88号	大子町財政調整基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第89号	大子町教育支援センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第90号	大子町ふるさと創生基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例	原案可決
議案第91号	大子広域公園多目的温泉プール管理運営基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例	原案可決
議案第92号	大子町固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意
議案第93号	平成30年度大子町一般会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第94号	財産の無償貸付けについて	原案可決
議員提出 議案第7号	永源寺進入路の補修工事についての陳情に関する決議	原案可決

可決された議案の内容は

「町長提出議案第90号」

◇大子町ふるさと創生基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例

○廃止の理由

・本基金は、市町村が実施する「自ら考え自ら行う地域づくり」への取組に対し、昭和63年度から平成元年度にかけて交付税措置された1億円を財源として設置されたものでありますが、平成30年度までにその全てを地域振興事業財源として充当し、残高がゼロとなり、当該基金設置の所期の目的を達成したことから、当該基金を廃止するとともに大子町ふるさと創生基金の設置、管理及び処分に関する条例（平成元年大子町条例第3号）を廃止するものです。

「町長提出議案第91号」

◇大子広域公園多目的温泉プール管理運営基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例

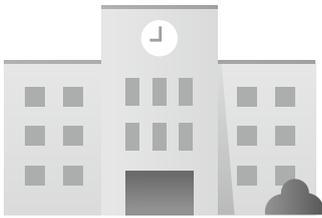
○廃止の理由

・本基金は、大子広域公園多目的温泉プールの管理運営のため、多目的温泉プールの運営益金を財源として設置されたものでありますが、当該基金設置の所期の目的を達成できないことから、当該基金を廃止するとともに大子広域公園多目的温泉プール管理運営基金の設置、管理及び処分に関する条例（平成9年大子町条例第18号）を廃止するものです。

「町長提出議案第94号」

◇財産の無償貸付けについて

・本案は、東京理科大学大子研修センターとして使用する目的で、学校法人東京理科大学に平成31年1月5日まで無償で貸し付けている旧茨城県立大子第二高等学校の土地及び建物について、無償貸付期間を平成32年1月5日まで1年間更新するため、地方自治法（昭和22年法律第67号）第96条第1項第6号の規定により、町議会の議決を求めます。



あなたから出された陳情は

陳情名	陳情者	付託委員会	結果
町道の崩壊危険箇所補修工事についての陳情書	永源寺住職 中村 信光 永源寺総代 菊池雄二郎 岡崎俊一郎 大藤 栄通 長岡区長 小濱 仁 ほか永源寺檀信徒一同 1, 1 2 1名	産業建設委員会	採 択

永源寺進入路の補修工事についての陳情に関する決議

平成30年10月11日付けで提出された、永源寺檀信徒、地元区長など1,126名の署名による「町道の崩壊危険箇所補修工事についての陳情」について、現地視察、関係者の意見聴取を行い、審議した結果、願意至当と認めたので、観光客や地域住民の安全確保のため対策を図るよう町へ要望することを、大子町議会として決議したものです。

平成30年第4回定例会

町政に

ここが聞きたい！これを言いたい！

7人の議員が一般質問！！

質問席

質問内容	ページ	質問者
ふるさと納税返礼品の見直しは	P.9	岡田敏克 議員
観光誘客150万人の取り組みは		
認知症サポーター養成の対応は	P.10	野内健一 議員
所有者不明土地の管理はどうか		
学校適正配置のビジョン提示を	P.11	藤田 稔 議員
3市町の観光振興における事業とは		
袋田の滝観瀑施設利用料金の活用は		
最低制限価格制度の活用を	P.12	菊池富也 議員
嘱託職員を地域や施設で活用できないか		
畜産農業の支援策と今後の見通しは		
東海第2原発の再稼働は	P.13	佐藤正弘 議員
国保税の町民負担の軽減は		
焼却灰の放射性物質の濃度について		
八溝山展望台の景観対策は	P.14	吉成好信 議員
大子町内のため池の点検・活用は		
来年度予算編成の方針は	P.15	鈴木陸郎 議員
地方創生は		
職員教育と人事交流について		

◇一般質問とは…

定例会において、議員が町民の代表として、行政全般にわたり町の考え方や施策の進捗状況、将来における施策方針等を質すことです。

また議員は、町長等の答弁を受け、疑問を質すことはもとより、町民の立場に立った事務事業の改善や施策提言をすることも、議員の重要な権限です。

スマホで議会中継見ませんか！

定例会及び臨時会のすべてを生中継するとともに、閉会後は録画配信も行っています。スマートフォンでも見ることができます。

(※一般質問者ページ下部にあるQRコードにより、質問者を検索することができます。)



ホームページから 議会中継 クリック



スマートフォンから





ふるさと納税返礼品の見直しは

【答】全て見直し指導を受ける事はない



岡田敏克 議員

を提出し、来年の4月から

施行を目指す。違反した自

治体は制度から除外し、寄

附をしても税の優遇措置を

受けられなくなる仕組みを

法制化することにした。平

成29年6月に町の納税カタ

ログに掲載のあった60品目

を含め66品目のうち3割を

超えたものが61品目あった

ことを指摘した。その後、

品目が増えて現在88品目な

っていると思うが、私が質

問したとおり是正を行った

のか伺いたい。

【財政課長】平成29年第2

回定例会において、ご指摘

をいただき町としても検討

を重ね、返礼割合が4割の

品物を中心に今年の4月1

日から見直しを行い、全て

の返礼割合を3割以内に改

正。総務省が示す指針に沿

ったもので、今後、国から

の指導を受けることはない

と思われる。

【岡田】町は返礼品につい

て、追加品目として新しく

追加する計画は考えているのか。

【財政課長】随時追加の受

付を行っている。町の特産

品としてふさわしい品物で

あれば、適宜追加で取り扱

っている。追加品物はホーム

ページで随時更新し、広く

周知、申込みを募っている。

【岡田】品物ばかりでなく、

別な品目を提案したい。他

の市町村にないもの、例え

ば一日町長、一日副町長、

一日教育長という制度を設

けて、一日天下を取った気

分に。ぜひそのような品目

を考えてはどうか。

【町長】一日町長というの

はなかなかない。私も初め

て聞いたが、ユニークなこ

とと思う。少し検討してみ

たいと思う。実現できれば

面白いなど。そういったこ

とが町のPRにもなるかと

思っている。

【岡田】大子町観光振興基

本計画が3月に策定され

た。一見すると、これまで

の施策、事業等を整備した

だけにしか思えない。数値

目標として150万人の数字

は、今から5年前に打ち

上げたもの。現在100万

人前後で誘客として5年間

何をしていったのかと言

い。

【観光商工課長】9月に北

茨城市、大洗町との観光振

興における連携協定を締

結、3市町で観光客を増や

していきたい。

【岡田】誘客案として、道

の駅と駅前に足湯を、SL

の復元、袋田の滝上空に口

ープウェイの建設、元こん

にゃく御会所にギャラリー

を、関鉄之介祭のイベント

企画などを検討してはど

うか。

【町長】難しいところと感

じている。

その他の質問

○大子町空家対策につい



是正されたふるさと納税カタログ

観光誘客 150万人の 取り組みは



認知症サポーター養成の対応は

【答】各地区で養成講座実施したい



野内健一 議員

域ごとに養成講座を実施していきたい。

【野内】 認知症ケアパスの配布は、現在どのくらいまで進んでいるのか。

【福祉課長】 認知症ケアパスとは、認知症の方の状態に応じた適切なサービスを示すガイドブックである。

【野内】 まだ作成中で配布には至っていない。現在計画しているのは、第一段階として医療関係者向け、第二段階として広く一般町民向けのものを配布しようと考えて

いる。

【野内】 配布先については

認知症サポーターと各地区の区長がいいと思うが。

【福祉課長】 そのように検討したいと思う。

所有者不明土地の管理は どうなのか

【野内】 過疎地では、都市等へ転出が多く、土地の相続人が不明であったり、その人を特定するのに長い時間と多大な費用が必要となってしまう。このことに対応するため平成30年6月13日に国会で成立した「所有者不明土地の円滑化等に関する特別措置法」は、どのような効果が期待できるのか。

地域住民にとって、公共福祉の向上と利便性が向上するものと考えられる。

【野内】 大子町においてこの法案が成立したことで、行政コストなど有効に機能することになるのか。

【町長】 例えば道路などで、支障になっていた土地が利用できることになれば、これは非常にメリットがあると思う。ただ、そこに至るまでに本当に所有者が不明なのかどうか、その土地が30年以上動いていないとか、多くの調査する項目があつて非常に複雑な面がある。さらに、道路や公園にした後にその所有者が出て返還請求があつた場合、使用期間が10年ということ

【まちづくり課長】 道路や病院、公園や駐車場整備など、公共事業で現状回復可能なものについて、事業地に所有者不明土地が存在した場合に、都道府県知事の裁定により一定期間の利用権が設定され、所有者不明の土地利用が可能となる制度が創設された。このことにより、所有者不明土地における公共事業、地域福祉増進事業が円滑に進めることが制度的に可能となり、

【野内】 大子町においてこの法案が成立したことで、行政コストなど有効に機能することになるのか。

【野内】 大子町においても認知症サポーターが設けられているが、その数は充足しているか。

【福祉課長】 大子町では682人の認知症サポーターが養成されている。国の認知症施策推進5カ年計画、いわゆるオレンジプランで、10人に1人のサポーターが必要となっている。しかし、国の規模では十分と言えないので、今後も養成していく必要がある。区長の理解を得ながら、各地



認知症サポーターのあかし



学校適正配置のビジョン提示を

【答】平成30年度内に提示したい



藤田 稔 議員

戸つくる。今後の入居状況を見ながら進めたい。学校は、地域のシンボルでもあるので、できるだけ残していきたい。

【藤田】北茨城市・大洗町大子町の3市町の観光振興における連携協力に関する協定が、平成30年9月26日に締結された。締結経緯を伺う。

【藤田】小・中学校の適正配置についてのビジョンは、どの様に提示する考えか。

【教育長】子育て支援住宅の建設計画や入居世帯の状況把握、小・中一貫校等、多様な学校形態の調査、研究も必要である。教育委員会としては、今年度内にはビジョンを作成したい。

【藤田】学校の統廃合に向けた中で、これから建設する子育て支援住宅との関係はどう考えるか。

【町長】現在56戸、今回11



学校と地域のつながり（袋田小収穫祭）

3市町の観光振興における事業とは

【町長】県の広域連携による滞在型観光客誘致の方針により、県の観光物産課と連携、指導を受け1月31日に事務的協議が始まり、9月までに、3市町で5回ほど協議を進めてきた。

【藤田】観光資源を生かした通年ルート、周遊ルートの検討について伺う。

【観光商工課長】広域観光周遊を促進する上で必要と考えている。各市町の観光協会等と協議していきたい。

また、3市町合同のパンフレットの作成も検討したい。

【藤田】3市町の市営・町営施設の入館割引制度の導

入について伺う。

【観光商工課長】北茨城市の五浦六角堂、野口雨情記念館、大洗町のアクアワールド・大洗、大洗マリンタワー等、大子町の袋田の滝、奥久慈茶の里公園、和紙人形美術館等による施設入館割引制度で、3市町周遊が図れるようにしたい。

【藤田】二次交通について

伺う。

【観光商工課長】地域間の移動手段として、カーシェアリングを含めて検討する。

【藤田】行政と観光協会、ホテル旅館組合等による意見交換会について伺う。

【観光商工課長】連携事業計画の説明等を行い、官民連携による広域観光振興に取り組みたい。

袋田の滝観瀑施設利用料金の活用は

【藤田】袋田の滝観瀑施設有料入場者及び利用料金の累計を伺う。

【観光商工課長】昭和55年6月1日から平成29年度までの入場者数は、2700万人、利用料金は、43億円となっている。

【藤田】観瀑施設利用料金は、町の観光振興にどの様に活かされているのか。

【観光商工課長】観瀑施設の維持管理、滝周辺整備、観光案内、宣伝等、また、袋田地区以外の環境整備等にも活用している。

【藤田】滝本地内遊歩道の伐採及び枝払いの実施状況、袋田の滝周辺の落石防護柵工事の進捗状況を伺う。

【観光商工課長】両事業とも県文化財保護審議会からの指摘で内容修正を行っている所である。

【藤田】観光の町づくりについて町長の考えを伺う。

【町長】「見て」「体験して」「食べる」これが観光の三要素であると言われていて、そういう中で、どう楽しませるかに尽きるところ。



最低制限価格制度の活用を

答 業務により制度の活用を検討する

年度10月末までに142件の入札を実施し、落札率の平均は92・7%である。

【菊池】 大子広域公園の植

裁管理業務の落札率は。

【財政課長】 年度別の平均

落札率は、平成28年度80・

7%、平成29年度70・

5%、平成30年度61・

8%である。

【菊池】 広域公園の植

裁管理業務の落札率が

異常に低い、町はど

う考えているのか。

【町長】 建設工事関係

の落札率は、97・8%

だが、業務委託関係は、

平均で88%である。広

域公園については、今

年度61・8%で、非常

に低い落札率なので、

働いている従業員のみ

なさんの処遇等につい

ても心配している。業

務委託については、最低制限価格の導入について検討する。

【菊池】 新庁舎の建設につ

いてもこの制度を活用し、

偽装や手抜き工事のない、

安心して安全な庁舎を建設し

ては。

は。

【町長】 予定価格の事前公表を実施しているので、課

嘱託職員を地域や施設で活用できないか

【菊池】 町の施設や道路の

環境整備に嘱託職員を配置

し、活用してはどうか。

【総務課長】 町では、33の

職種に70名の嘱託職員を雇

用している。町立小中学校

の環境整備は、保護者の協

力やシルバー人材センター

題も多く、今後よく検討していきたい。

を活用して実施しており、

通学路等は、業者への委託

や各地域住民のみなさんの

協力を得て実施している。

【町長】 補えない部分は、

十分な予算措置をして、シ

ルバー人材センターなどを

活用して対応したい。

畜産農業の支援策と今後の見通しは

【菊池】 町の畜産農業を維

持していくための施策は。

【農林課長】 国、県及び大

子町畜産農業協同組合との

連携を密にし、繁殖和牛生

産事業の充実やCBS施設

の活用による増頭策などを

推進する。酪農業には、獣

医師との連携による人工受

精への支援や搾乳の品質向

上の施策を実施する。

や提案はできないか。

【町長】 現在、子牛の取引

価格は高値で推移している

が、設備の老朽化や出荷頭

数の減が問題になっている

ので、今後、組合の動向を

見ながら検討する。



菊池富也 議員

東海第2原発の再稼働は

賛成できるわけない。反対である。

という考えは変わっていない。

【佐藤】 危険性のある原発は再稼働する必要がないのではないのかと答えられているが再稼働に反対すると言うことなのか

【町長】 必要性がないということから、当然賛成できるわけがない。反対である。



廃炉が求められる老朽化した東海第2原発

ついで、国や県から削減の指導が求められている。これ以上の繰り入れを行うことは難しいと考える。

【佐藤】 ここ5年間を見て、毎年、18・8%〜13・2%と滞納が続いている。所得が減っている割に国保税が増えているからであ

焼却灰の放射性物質の濃度について

【佐藤】 バイオマス発電施設の焼却灰の放射性物質の濃度について、ことし、1月〜7月までの15回の測定結果が報告された。その値は、447ベクレルから4396ベクレルと最低と最高では10倍の差がある。

【まちづくり課長】 事業者を確認したところ、産地による差より、木材を加工する際の樹皮の混入によって差が出ると推測されている。放射性物質は皮の部分で高く現われる傾向がある。

る。町民の生活を守るのが町の仕事である。町民負担の軽減を図るべきだと思うが

活用は有効な手段であるが産地によっても変わる可能性がある。町として責任をもって調べる必要があるのではないのか

【まちづくり課長】 管理目標を下回っている状況であるが差が出ることについてはしっかりと分析していただくよう指導していきたく。

その他の質問

- ◎大子町空家対策について
- ◎八溝山への県道、景観対策について
- ◎生活環境の充実について
- ◎その他

【佐藤】 昨年の12月議会の東海第2原発の再稼働に関する質問に対し、町長は、「危険性のある原発は稼働する必要はないのではないのか。」と答弁しているが東海第2原発の運転延長を原子力規制委員会が認可した今、どのように考えるか

【町長】 この40年位の間にスリーマイルとチェルノブイリそして福島と原発事故が起きている。基本的には、危険性のある原発は稼働する必要はないのではないのか

【佐藤】 毎年、国保税の滞納が発生している。所得の割に国保税が高いことが一つの要因である旨の答弁をしている。国・県への支援の働きかけ、一般会計からの繰り入れを増やし、町民負担の軽減を図るべきであると思うがどの様に対応していくのか

【町民課長】 平成30年度予算において、法定外繰入金に5423万4千円を計上しているが、この繰入金に



八溝山展望台の景観対策は

【答】景観と自然保護のバランスを図る



吉成好信 議員

楽しみたい、あるいは保護してほしいという方もいる。町としては、やはりこの景観と自然保護のバランス

スを図りながら、引き続き関係各所のご意見を伺いながら対応を検討していく。
【吉成】 最初から木が大き

【吉成】 八溝山展望台や景観を守るために、町はどう対処すべきと思っているのか。
【観光商工課長】 展望台については、昭和61年の完成から32年が経過し、老朽化や耐震の問題もあるため、今後修繕や解体を含め検討していく必要があると考えている。また、観光地として景観は重要である一方、このエリアは県立自然公園ということ、規制のかかったエリアで自然保護区域である。そのため、自然を



眺望の改善が求められる展望台

くなることは分かっていた訳である。そこへあえて造った訳だから、展望台であ

って、展望台でない展望台である。展望台らしい展望台にしていただきたい。

【町長】 環境保全の意識は高まっている。展望をさらに良くするために、周辺の樹木を伐採することが可能

大子町内のため池の点検・活用は

【吉成】 大子町内のため池は防災上どのような状態になっているのか、調査をしたのか。

【農林課長】 農業の担い手不足等により耕作放棄地等が増加する中、ため池の用水を利用する農地が減少し、ため池の利用度が低くなっている。ため池台帳の整備もされており、昭和53年当時においては62カ所、現在は29カ所の登録がされている。調査は、本年、西日本の豪雨災害を受けて、農林水産省から全国一斉緊急点検の指示で、8月に一

斉点検をした。

かということになると、関係官庁の意見を聴くと、かなり難しいので、町としても今すぐどうこう言えない。

【吉成】 棚倉の森林管理署へは何回行ったのか。

【観光商工課長】 実際に行ったのは1回である。

【吉成】 一斉点検をしてどのくらいあったのか。

【農林課長】 今後の豪雨や台風等に備えて、応急措置が必要と判断される防災対策重点ため池について、該当するため池はなかった。

【吉成】 ため池の管理点検についてはどうなっているのか。

【農林課長】 町内29カ所のうち、地域の利用組合等が存在しており、こちらに機能管理及び点検をお願いしているのが11カ所、個人に依頼しているものはない。



来年度予算編成の方針は

【答】12月に選挙があり答弁できない



鈴木 陸郎 議員

野庁出向)に伺う。町とのパイプ役として努力できないか。

【副町長】 経済産業省内に企業立地を推進している部署があり、今後も町振興のため尽力したい。

【鈴木】 来年度予算編成の方針について、新規事業を含めて伺う。

【町長】 12月に選挙があり答弁はできない。

【鈴木】 企業誘致活動は、他自治体より遅れている。誘致調査費をつける考えがあるか。

【町長】 4年間で3社誘致できた。企業立地推進本部(県・東京)に紹介を依頼している。

【鈴木】 副町長(経産省出向)、まちづくり課長(林

【まちづくり課長】 大子町の林業は、素材生産従事者が多く、加工・販売体制の充実が重要である。この町に適した企業は何かを意識し対応したいと考える。

【鈴木】 道路修繕工事業を県で実施しているが、町でも独自の事業費を予算化してはどうか。

【建設課長】 休日・夜間を問わず作業員を拘束し、多額の契約費用が必要である。必要性、優先性、費用対効果を考慮し、個別に対応したい。

【鈴木】 町内には、町管理、

県管理のトンネルがあり、ドライバーより照明が暗いとの要望があるが、改善の考えは。

【建設課長】 東日本大震災の影響で節電している。分電盤の復旧や照明器具の維持管理を速やかにしたい。新月居トンネルは、照明設備の一部に不具合があり、



トンネル内の照明の改善を

今年度中に照明灯更新工事の発注を予定しているとの

地方創生は

【鈴木】 本町独自の地方創生策の説明を。

【町長】 医療費、保育料、給食費の無料化、子育て支援住宅の建設、芸術のまちづくり、森林セラピー事業、特産品流通公社等の事業について地方創生事業交付金を受けている。

【鈴木】 子育て支援住宅は

ことである。

今後100棟程度との考えは、町長独自の考えか、町の基本計画なのか。

【町長】 子育て支援住宅計画を策定し整備している。

【鈴木】 町長が代われれば変わるか。

【町長】 代わった場合は町長の考えによる。

職員教育と人事交流について

【鈴木】 人事交流による効果は。

【町長】 中央省庁と人脈ができる。客観的な判断と政策立案ができ大きな効果がある。

【鈴木】 人事交流による実績は何か。

【町長】 高校生向けの地元企業からの就職説明会の実施等。

【鈴木】 職員教育にあたる研修はどのように行っているのか。

【総務課長】 人事評価研修、業務マニユアル研修、政策課題研修を実施。新規採用職員研修、各係長新任等の階層別研修、地方自治研修等を実施し、職員の資質向上を図りたい。

— 大子っ子の夢、応援しています —

わくわく わたしの夢



私の将来の夢は、調理師になることです。

小さい頃は、料理の手伝いをする両親が喜んでくれたので、自分の作った料理で多くの人を喜ばせたいと思い、調理師を志すことにしました。

昨年の職場体験学習では「思い出浪漫館」で調理補助の体験をしました。仕事をすることは大変でしたが、その分やり

がいを感じる事ができました。また、視野を広くして仕事をする事や

コミュニケーションの大切さも学ぶことができた。そして、夢を実現させるためにも、今できることを一生懸命やる必要があることを知りました。

まずは今すべき勉強に励み、将来の夢に向かって頑張りたいです。



大子西中3年
こまつ そうた さん
小松 颯汰さん
(大字左貫)

FM放送のお知らせ



町議会定例会の一般質問の様子をFMだいで聴くことができます。生放送のほか録音放送もしていますので、是非お聴きください。放送日、時間等はFM放送等でお知らせします。

3月定例会 開催予定

- ▽6日(水) 開 会
- ▽7日(木)～10日(日) 自宅審議
- ▽11日(月) 一般質問
- ▽12日(火) 一般質問
- ▽13日(水) 一般質問
- ▽14日(木) 逐条審議
- ▽15日(金) 逐条審議 閉 会

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

大子町議会 広報委員会

- 委員長 須藤 明
- 副委員長 佐藤 正弘
- 委員 菊池 富也
- 委員 菊池 靖一
- 委員 大森 勝夫
- 委員 中郡 一彦

あとがき

新年を迎え、平成も残り少なくなりました。大子町は、過疎、少子高齢化、役場新庁舎建設など多くの課題が山積しています。そんな中、新町長が誕生しました。町民のみなさんは、行政経験も政治経験もない新しいタイプの町長を選びました。期待と不安の中、新大子丸の船出です。今年、7月に参議院議員選挙、10月に国体、消費税増税と忙しい一年になりそうです。私たち議員の任期も残すところ一年となりました。4年間の集大成の年ですので、より一層引き締めて議員活動にあたりたいものです。

(菊池富也)